

木城町で実証するサービスのイメージ



NTTグループ 水道スマートメーター 宮崎・木城町で実証試験

宮崎県木城町（半渡英俊町長）とNTT西日本宮崎支店（横奥宏明支店長）、NTTテレコン九州支店（中島伸樹支店長）は3日、木城町での「水道スマートメーター実証試験の実施に関する協定」を締結した。実証は2～7月に行い、必要に応じて継続する。

NTTテレコン製の通信端末「グッとびくんW」と電子式水道メーターを接続し、NTTテレコンの集中監視センター（蔵市）を介して同町の公共施設や戸建て住宅、

老健施設や温浴施設などの水道メーター遠隔検針などに集中監視システムを提供する。漏水警報機能を活用し蛇口閉め忘れなどの早期発見の可能性も期待できることから、実証を通じ業務削減や住民サービス向上の定量的な効果を測定する。水不正使用警報や水使用状況の情報から独居老人見守りサービスへの応用が期待できるため、その適用効果も測定する。

実証効果は①検針効率化による検針コスト削減と人員不足解消②難検針

の解消③検針用車両などのCO2排出削減④見守りサービスへの適用による福祉サービス向上——などを想定。木城町は実証フィールドの提供、NTT西日本は水道検針データの分析と上下水道業務のDXに向けた検討、NTTテレコン九州支店は遠隔水道検針サービスの提供とデータ化を担当する。上下水道関連業務のDXへNTTテレコンの通信端末と集中監視を活用し水道メーターの遠隔検針を実証、併せて一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる社会の実現可能性を検証する。